

第11回 SDGs研究会

2025年12月4日(木) 14:00～17:00

会場

オンライン開催

(TKPガーデンシティPREMIUM札幌大通より配信)

定員

なし

参加費

無料

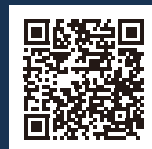
申込期間

2025年9月15日(月)～11月30日(日)

●下記サイトからwebフォームを通じてお申込ください。

<https://www.sapporo.coop/about/customer/sdgs/4946.html>

コープさっぽろ公式サイト → 「コープさっぽろとは」 → 「お取引先の方へ」 → 「北海道SDGs推進プラットフォーム」



プログラム



基調講演: **長野 麻子氏** 株式会社モリアゲ 代表

テーマ **みんなで北海道の森をモリアゲよう!**

愛知県安城市生まれ。愛知県立岡崎高校卒、東京大学文学部フランス文学科卒、1994年に農林水産省に入省。2018年から3年間林野庁木材利用課長として「ウッド・チェンジ」を各地で叫び続ける。豊かな森を次代につなぐことを勝手に天命と感じ、2022年6月に早期退職。同年8月に日本の森を盛り上げる株

式会社モリアゲ(<https://mori-age.jp>)を設立し、森林業コンサルタントとして全国の森をモリアゲ中。



事例報告: **阿部 益巳氏** パナソニック株式会社 エレクトリックワークス社ライティング事業部 総合企画室企画推進課 主幹

テーマ **照明器具「大量廃棄」課題の解決～照明 to 照明の資源循環ループ形成の推進**

東京理科大学大学院工学研究科修士課程修了後、松下電器産業(現パナソニック)に入社、照明事業部へ配属。白色LED光源の寿命予測技術や長寿命化設計の研究開発を担当した。2020年、ビジネス・ブレークスルー大学大学院経営管理修士課程を修了。事業企画職に就き、照明器具のサーキュラーエコノミー型事業モデルを企

画・推進。パナソニックグループ初の工場スクラップの水平リサイクルスキームを構築。2023年、環境省の実証事業に採択され、使用済み照明器具の回収・リユース・リサイクルにおける効果を検証している。蛍光灯の大量廃棄問題の解決を目指し、資源循環ループの社会実装を推進している。

SDGs QUEST みらい甲子園 2024年度北海道大会受賞校



事例報告

北海道浦河高等学校

テーマ

絵本で繋がる、私たち

浦河町ではインド人移住者が増え、多文化共生が課題となっている。この解決策として、日本の絵本をヒンディー語と英語に翻訳した。インド出身の国際交流員と協力し、正確な翻訳絵本を作成。インド人親子への読み聞かせ会を実施し、浦河町立図書館に寄贈した。今後は、文字を読めない親子向けに音声による絵本鑑賞を行う。



事例報告

北海道静内農業高等学校

テーマ

リジェナブルな社会を目指して!!

「環境に良いはお金がかかる」という固定概念を払拭するため、活動を開始。年間55tも廃棄される新ひだか町の桜の枝に着目した。当初は協力企業が見つからなかったが、リジェネラティブ(環境再生)とリーズナブル(合理的)を両立させる「リジェナブルな社会」を提唱。その考えに賛同した企業や大学と協力し、桜の枝からスモークチップを商品化。桜まつりで配布し、10万人の観光客にこの活動をPRした。今後はチップを通してこの考えを全国に広めていく。

事務局報告

テーマ **「Hokkaido 海のクリーンアップ大作戦!Vol.5開催報告」**

問合せ

北海道SDGs推進プラットフォーム事務局(生活協同組合コープさっぽろ 組織本部)
csap.sdgs@sapporo.coop / 050-1751-4868